



とびら

No.93

(平成30年6月議会を掲載)



特集

ジュニアラグビー

×

市議会

— CONTENTS —

特集 ジュニアラグビー×市議会 2・3ページ

6月議会の概要…………… 4 ～ 5

常任委員会の活動…………… 6 ～ 7

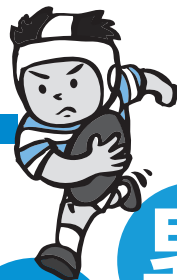
ここが知りたい！一般質問…………… 8 ～ 18

議会 TOPICS …………… 20

次号の「とびら」は、平成30年11月1日発行予定です

ミニラグビー

ただいま人気急上昇



ジュニアラグビー × 市議会

2019年には、夏季オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ規模となる、世界三大スポーツイベントの1つのラグビーワールドカップが、初めて日本で開催されます。

スポーツのまち「かしま」には、サッカーだけでなく、野球やラグビー、陸上競技、柔道、剣道、弓道、少林寺拳法など全国レベルで活躍している選手やチームがたくさんあります。

今回は、スタッグスジュニアラグビースクールの指導者の方にお話を聞かせていただきました。

スタッグスジュニア チームについて教え てください

私たちのチームは、鹿嶋市ラグビーフットボール協会とともに、ラグビーが大好きな大人たちがコーチとして指導しており、団員は男女問わず、園児から小学生、今年から中学生を受け入れており、ラグビーを楽しんでいます。今の子どもたちは、体を動かす環境が少なく、例えばボールを扱うことができなかつ

たり、走ることすら満足

にできない環境にあるのではないのでしょうか。そういう環境を打破するために、運動をしたい子どもたちが集える場をつくることができると、活動をしています。

ラグビーの魅力とは

ラグビーは他のスポーツでも活躍できる体の基本づくりができ、ポジションによって色々な能力が必要とされるので、個性を生かすことができる総合的なスポーツで

す。

また、規律正しくもあり、審判に意見できるのはキャプテンだけで、その要職に選ばれる人は人格的にも優れ、人としても磨かれます。

ラグビーを通して、 子どもたちにはどの ような変化が見られ ますか

ラグビーはフェアプレーとノーサイドの精神で行われるもので、礼儀と仲間を大切にすることがスポーツとして指導してい

ます。初めは人前で話す

ことができないなど、内気だった子どもたちが、上級生になるにつれ、前向きな心を育み、人前でも堂々と話すことができたり、感謝の気持ちを伝えることができるようになっていきます。

コーチとして指導し ていて、どのような ところに喜びを感じ ますか

子どもたちの成長を見ることができている喜びを感じています。練習





によってプレーが上手になるといったスキル向上だけでなく、精神力が強くなるというか、心の成長を感じることができず。

逆に苦勞されていますか

ラグビーは、日本ではマイナーな競技なので、あまり知られていないところがあります。接触するプレーが多く、タックルも危険だと思われるおれず、なかなか受け入れられず、広がらないところがあります。

また、コーチの数もまだまだ少なく、私も始めは保護者として見ていましたが、いつの間にか、コーチとして指導しています。鹿嶋市ラグビーフットボール協会が行っているタグラグビーの指導・普及にも参加しています。楽しさをわかっってもらえるよう、これからも取り組んでいきたい。

行政や市議会に要望などはありますか

スポーツは子どもたちの成長過程において、さまざまな大切なことを学ぶことができます。サッカー以外でも、各スポーツのフォロワーを願います。また、スポーツ先進都市として、子どもたちがスポーツを諦めてしまわないよう、多くの受け皿や種目、スポーツの

環境整備などをお願いしたい。



ミニラグビーってなあに？

ラグビーフットボールの魅力を感じてもらうために、幼児、小学生を対象につくられた子どもたちのためのラグビー型ボールゲームです。

ミニラグビーの競技規則はプレイヤーの発育・発達を考慮し、安全に楽しくプレーできるようにグラウンドの大きさ、プレイヤーの人数、ボールのサイズ等、年齢別にU7～8、U9～10、U11～12と段階的に制定されています。ラグビーを全く知らない子どもが、どの年齢から始めてもすぐに親しむことができるスポーツです。

私たちがコーチをしています。
ぜひ一緒にやりませんか！



会員募集

活動日 毎週日曜日 午前9時～11時
場所 清真学園グラウンド
対象 幼児～小学生
年会費 幼児：7,500円 小学生：1万円

【入会申し込み・お問い合わせ】

スタッグスジュニアラグビースクール

増古さん ☎090-5333-6832



こんなことが決まりました

6月7日～20日の14日間、平成30年第2回定例会が開催されました。市長から予算1件、条例5件、その他18件の議案が提出され、委員会からは1件の議案が提出されました。また、1件の請願が議会に提出されました。議決結果は次のとおりです。

<市長から提出された議案>

議案番号	議 案 名	結 果
議案第41号	平成30年度鹿嶋市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第42号	鹿嶋市税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第43号	鹿嶋市防災会議条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第44号	鹿嶋市医療福祉費支給に関する条例及び鹿嶋市子ども特別医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第45号	鹿嶋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第46号	鹿嶋市運動施設条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第47号	鹿嶋地方公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第48号	鹿嶋地方公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第49号	鹿嶋地方公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第50号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第51号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第52号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第53号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第54号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第55号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第56号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第57号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第58号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第59号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第60号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第61号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第62号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
議案第63号	鹿嶋市農業委員会の委員の選任について	原案同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任

<市議会へ提出された請願>

請願番号	議 案 名	結 果
平成30年 請願第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書に関する請願書	採 択

<委員会が提出した議案>

意見書番号	議 案 名	結 果
意見書第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決

意見書を 提出しました

■ 地方財政の充実・強化を
求める意見書

地方自治体は、社会保障への対応、地域公共交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、地方版総合戦略の実行や防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。こうした状況にもかかわらず、社会保障費の圧縮や地方財政の歳出削減に向けた議論が加速しています。

不可欠なサービスが削減されれば、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかです。

このため、政府予算と地方財政の検討に当たっては、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立を目指すことを求め、意見書を提出します。

「提出先」

内閣総理大臣、財務大臣、
総務大臣、経済産業大臣、
内閣官房長官、内閣府特
命担当大臣

こんなことが決まりました

5月10日に開催された臨時会では、新任議員の委員会の選任等が行われたほか、市長から条例1件、報告3件、その他1件の議案が提出されました。議決結果は次のとおりです。



<市長から提出された議案>

議案番号	議案名	結果
議案第39号	鹿嶋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第40号	鹿嶋市副市長の選任について	原案同意
報告第2号	専決処分について（鹿嶋市地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部を改正する条例）	原案承認
報告第3号	専決処分について（鹿嶋市税条例等の一部を改正する条例）	原案承認
報告第4号	専決処分について（鹿嶋市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例）	原案承認

討論

■ 議案第39号 鹿嶋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険事業の財政運営の責任主体が県へ移行し、県が決定した国民健康保険事業納付金を納めることに伴い、保険税の課税方式及び保険率を変更するため、条例の一部を改正するものです。

反対 立原弘一 議員

1人当たり平均して1600円強、国保税の負担増になることについて、執行部が、市民負担の増を回避するために努力がなされていたのか非常に疑問が残った。値上げが必ずしもだめとは言わない。市長を初めとした執行部の血の出るような努力が見えたならば、判断も変わるが、今回はそれが足りなかったと思うので、反対する。

議員賛否一覧表

賛否が分かれた議案 と 議員(会派)の賛否結果	公明かしま		無所属	日本共産党 鹿嶋市議団	幹会			是非々々の会	未来かしま							副議長					
	山口哲秀	樋口富士男	池田法子	出頭克明	立原弘一	川井宏子	宇田一男	根崎彰	菅谷毅	河津亨	田口茂	篠塚洋三	飯塚俊雄	内田政文	坂本仙一	小池みよ子	栗林京子	小松崎敏紀	笹沼康弘	西塚保男	
議案第39号 鹿嶋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=- ※池田芳範議長は、採決に加わりません。

予 算 決 算 常 任 委 員 会

市民参加のまちづくり事業等の 予算を可決

予算決算常任委員会では、1件の補正予算を審査しました。

■議案第41号 平成30年度鹿嶋市一般会計補正予算（第1号）

既定の歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ3億4120万6千円を減額し、総額230億4579万4千円となりました。

歳入としては、学校施設環境改善交付金の減による国庫支出金の減6749万4千円、公共施設整備基金繰入金の減などによる繰入金の減6911万2千円、自治総合センターコミュニティ助成金の増による諸収入の増250万円、義務教育債の減による市債の減2億710万円を見込みました。

歳出としては、コミュニティ助成事業補助金による市民参加のまちづくり事業の増

250万円、普通教室等エアコン整備に係る小学校大規模改造事業の減3億4370万6千円を計上しました。市債は、小学校大規模改造事業について限度額を変更しました。

討論はありませんでした。採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきと決定しました。



▲コミュニティ助成事業補助金でつくられた和太鼓

総 務 生 活 委 員 会

制度内容を周知し、利用促進を

総務生活委員会では、2件の議案と1件の請願を審査しました。

主な質疑

■議案第42号 鹿嶋市税条例の一部を改正する条例

生産性向上特別措置法が施行されることに伴い、中小事業者等が新規に取得した特定の償却資産に係る固定資産税を免除するため、条例の一部を改正するもの。

問 土地の固定資産税は免除の対象に含まれないのか。

答 固定資産税には、土地、家屋、償却資産があるが、該当は償却資産のみ。

問 対象事業者はどれぐらいを予想されているのか。

答 対象となる中小事業者等は法人が1544

社、個人が2532件。何件申請が来るかは未知数。

問 中小企業等だけではなく、個人商店も対象か。制度に該当する設備等の購入が条件となる。

答 申請の手続き等、煩雑にならないよう対応を。また、制度内容をわかりやすく周知し、多くの方が利用できるようお願いしたい。

討論はありませんでした。採決の結果、全ての議案について原案のとおり可決すべきであると決定しました。また、請願についても採択すべきであると決定しました。

茨城県医療福祉費制度の 助成対象年齢が一部拡大

文教厚生委員会では、議案3件を審査しました。

主な質疑

■議案第44号 鹿嶋市医療福祉費支給に関する条例及び鹿嶋市子ども特別医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

茨城県医療福祉費等補助金交付要項の改正により、県の助成対象年齢が一部拡大されることに伴い、本市の医療福祉費支給制度に關し、所要の調整を行うため、関連する条例の一部を改正するもの。

意見 医療福祉費支給制度に對するペナルティについて国へ改善の要望をすべき。

■議案第46号 鹿嶋市運動施設条例の一部を改正する条例
ト伝の郷運動公園多目的球技場等について、利用実態に

応じた利用料金体系にするため、条例の一部を改正するもの。

問 答

利用料が上がるが、市民への事前説明は。年間のスケジュールを決める利用団体との調整会議で話をしていく。また、10月改正予定なので、それまでに利用者に十分周知をしていく。



新たに改修されたト伝の郷運動公園多目的球技場

意見 介護予防の観点から、高齢者の利用料金について配慮すべき。

討論はありませんでした。採決の結果、全ての議案について、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

都 市 経 済 委 員 会

鹿島バルクターミナル(株)の 貯炭場施設が竣工、稼働へ

都市経済委員会では、6月18日に鹿島バルクターミナル(株)の貯炭場施設について現地視察を行いました。

■鹿島バルクターミナル(株)の貯炭場施設について

鹿島バルクターミナル(株)の貯炭場施設が5月22日に竣工しました。この貯炭場は、神栖市奥野谷浜の火力発電所(建設中)へ供給する石炭を保管・中継するための施設で鹿島港外港公共埠頭に建設されました。

6月20日にはオーストラリアから石炭船の第一船が入港し、石炭荷役が開始される予定になっています。(6月18日の視察時点)

市では、同社の経営に参画することが鹿島港の発展、地域経済の活性化に有益であるとの判断から、一千万円の出資参加をしています。
※第一船は2日遅れの22日に入港、貯炭場が稼働した。



貯炭場の視察風景



鹿島バルクターミナル貯炭場全景

施設の概要

所在地：鹿嶋市大字平井字灘
敷地面積：3万3700㎡
貯蔵場面積：1万9402㎡
貯蔵量：11万トン
設備：擁壁、防塵フェンス、散水設備、管理棟など

ここが知りたい！ 一般質問



このQRコードまたは各議員の顔写真下のQRコードから一般質問の映像がご覧いただけます。詳細は P.19 をご覧ください。

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「インターネット中継」または「録音中継」をご利用ください。



かわい ひろこ 議員
川井 宏子
〔発言時間＝70分〕



Q 公共交通の利便性を高めて欲しいという市民の声に、どのように応えていくのか

川井

7月から運行になるデマンドタクシーに期待しているが、市民はタクシーの初乗り券が廃止になることやデマンドタクシーが6台の稼働で全市民が対



A 必要に応じた改善を継続していく
象ということ、また予約の変更への対応などに不安を感じている。さらには、市外の病院へ通う手段がないことも不便に感じているが、今後も市民の声に柔軟に対応する考えはあるのか。

政策企画部長

これまで公共交通に関する各種計画策定の過程において議員指摘の問題等については十分に検討してきた経過がある。今後についても、利用者の意見などを十分勘案しながら、関係機関・事業者・市民からなる鹿嶋地域公共交通活性化協議会などにおいて定期的・継続的にそれぞれの公共交通システムを評価していただき、必要に応じた改善を継続していくことで誰もが住みやすい優しいまちづくりの実現を推進していく。

Q 児童クラブの受け入れ体制に無理はないのか

川井

夏休みだけの児童受け入れで、人数が増えること

A 申し込みの増加を想定し、普通教室の活用も視野に入れて対応する
が予測される中、受け入れ基準は大丈夫なのか。また、専用教室でないことから荷物を置く場所もないことや、子どもが多くて目が行き届かなく危険である。子どもの安全が不安との声を聞くが、受け入れ体制に無理はないのか。

教育長

市では『子育てするなら鹿嶋市で』を掲げ子育て支援に力を入れており、今年度は5クラブを増設し、希望する児童全ての受け入れをスタートしている。夏季休業期間中の一時申し込みについては、公民館を利用して教室数を増やすなど受け入れをしてきた。通年の申し込みについては、これまで余裕教室や特別教室で受け入れていたが、今後なお一層の申し込みの増加が見込まれることから、普通教室の活用も視野に入れて対応する必要があると考えている。

【こんな質問もありました】
④ 年金支給について

Q 国体やオリンピックに向けた鹿島神宮駅構内や周辺の案内板などの整備を

栗林

現在の神宮駅構内や周辺の案内表示板は、数が少ないうえ訪日外国人にとってわかりにくく不便である。来訪者のよりどころである案内板のサイン計画を策定し、オリンピックまでに実行すべきではないか。

A オリンピックに向けた表示・標識多言語対応を強化し、案内板の整備を検討していく

政策企画部長

オリンピック・パラリンピックに向けた表示・標識等の多言語化については、外国



くりばやし きょうこ
栗林 京子 議員

(発言時間= 60分)



人旅行者が円滑に移動し、安心して快適に滞在できるように、整備に向けた取り組みの強化が求められている。駅構内の整備については、JRへ要望を行いながら、臨時的なものを含めて、案内サインの整備を検討していく。

Q 駅周辺の活性化対策として駅近くへ行政機能の移転を考えているのか

栗林

コンパクトな街並みをつくる上でキーポイントとなる都市機能の集約と地域の賑わいの面から、主たる行政機能のまちなか構想を描き、市民が将来にわたって夢と希望が持てる施策に取り組むべきではないか。駅周辺の活性化対策として、行政機能の移転について考えているのか。

A 駅周辺の賑わいづくりは大きな課題の1つと認識している

政策企画部長

現時点で駅周辺に市役所などを移転させることは考えていないが、市民の交流施設や子育て支援施設等であれば、検

討する余地があると考えている。市としても駅周辺の賑わいづくりは大きな課題の1つと認識している。

Q アントラーズホームタウンDMOの法人設立後の取り組みは

栗林

DMOは一般社団法人として設立して間もないが、設立後の取り組みについて状況を伺う。

A 観光地域づくりを進めている

経済振興部長

一般社団法人アントラーズホームタウンDMOは、平成27年度末から検討を始め、2年間の準備期間を経て、本年1月に法人設立に至った。4月から事務局が本格稼働をしている。今ままでDMO準備委員会が検討してきた事業内容がビジネスとして成立するのかが再検討するともに、海外サッカーチームの合宿受け入れ準備や旅行商品の造成等、自走化に向けた取り組みの推進と観光地域づくりを進めている。



うちだ まさぶみ
内田 政文 議員
〔発言時間＝60分〕



Q 2期目に向けた市長のまちづくりの取り組みについて

内田 『5つの鹿嶋力』を基本に、4年間積み重ねてきた施策を土台とした今後のまちづくりの推進について伺う。

A 未来が共有できる鹿嶋づくりに取り組んでいく

市長 これまでの『5つの鹿嶋力』をさらに推進していく。市民との積極的な対話を通して、地域資源を生かしながら、医療・福祉・教育が充実し安全で安心で未来が共有でき、誰もが住み続けたいと思える鹿嶋づくりに取り組んでいく。

Q 喫緊に取り組むべき重点施策とは

内田 『5つの鹿嶋力』は、中期の取り組みも含まれているが、喫緊に取り組むべき重点施策を伺う。

A 国体・東京五輪の大会後も持続的に取り組みを進める

市長 茨城国体と東京オリンピックの成功と、大会後も持続的なレガシーの創出につながるような取り組みを進めていく。

Q 大野地域の生活向上の取り組みについて

内田 地域間格差解消について、どのように努力して取り組んできたのか伺う。

A 大野区域のインフラ整備を継続的に進めている

市長 県道荒井行方線、武井地内市道0151線、角折・棚木地区市道0155線、荒野台雨水排水対策などのインフラ整備

を計画的に進めていく。また、デマンドタクシーの運行、温水プールに着工、潮騒はまなす公園のリニューアルも取り組んでいく。

Q 鹿嶋市の教育施策について

内田 幼児施設と小学校が連携して就学前後教育を円滑に結びつける学びの連続性と、小学校入学後につまづいてしまう状況の「小1プロブレム」についての認識と現況は。

A 教育上の今日的な重要課題として認識

教育長 他市に先駆けて取り組んでいる幼保小連携や、接続をより円滑に進める仕組みづくりが重要となってくると考えている。

教育部長 本市では、「幼保小の連携」と「就学相談員の活用」、さらに「アップローチ・スタートカリキュラム」に沿った教育活動を家庭と一体となり取り組んでいく。

Q 保育園待機児童の人数とその対策は

小池

保育園待機児童問題について、今年度は3年ぶりに待機児童が出たと聞いているが、その人数と今後の対策について伺う。

A 保育の量と質の確保に努め再び待機児童ゼロを目指す

市長

今年度の待機児童については、4月1日時点で5名の待機児童が発生した。今後待機児童解消に向けては、特に保育ニーズの高い0歳から2歳児を受け入れる施設の確保ができるように、平成31年4月に開設予定の民



こいけ みよこ 議員
小池 みよこ

〔発言時間＝60分〕



Q デマンド型乗り合いタクシーの目的施設の数と市民への周知方法は

小池

7月4日から始まるドア・ツー・ドアの乗り合いタクシーについて質問する。4月の広報「かしま」で目的施設の募集が始まっているが、現段階での登録は何箇所か。また、目的施

間小規模保育事業所の整備支援を図るとともに、児童数の推移や女性の就労率、低年齢児の保育ニーズ等を踏まえながら、幼児教育及び保育施設の再編整備を検討していく。そして平成31年度には、保育ニーズを含む子育て支援のアンケート調査を実施する予定であることから、今後は国の動向も注視しながら、保育の量と質の確保に努め、効果的な施策を積極的に講じ、再び待機児童ゼロの達成を目指していく。

設の少ないエリアへの対応状況及び市民への周知方法は。

A 制度の周知及び利便性の向上に努める

政策企画部長

市民への周知については、広報紙・行政委員回覧や大型ショッピングセンター・スーパー・病院などに協力いただき周知に努めている。また、乗降場所となる目的施設数については、6月1日現在で、医療機関・商業施設・金融機関・公共施設など合わせて74カ所となっている。目的施設の登録については、広報紙で周知するとともに、医療機関や商業施設などには登録依頼の文書を個別に送付している。目的施設の少ないエリアについては、施設に直接出向いてお願いをするなどの対応も行っている。今後も市民要望の把握に努め、運行状況などを見極めながら、デマンド型乗り合いタクシーの利便性の向上に努める。

【こんな質問もありました】

● 公共施設のトイレの問題について

ここが知りたい！ 一般質問



しゅとう かつあき
出頭 克明 議員

[発言時間 = 60分]



Q 鹿嶋市における農業政策の
目的・目標とは何か

出頭

市における農業政策の目的・目標とは何か、なぜ農業政策をするのか、誰のためにするのか伺う。

A 担い手の育成確保や地産地消の推進などにより農業の向上に努めている

市長

目的は、食料供給の安定、食料増産、食料価格の維持、農家の保護、食料受給率の向上などが挙げられる。

経済振興部長

農業施策については、農業生産体制の整備・充実、魅力ある農業の振興、特産品プ



▲ 補助金を利用して設置した大型ハウス

Q 市長は歴史資料館建設を
再検討しているのか

ンド化の推進を基本方針にして、担い手の育成確保や交流体験農場の整備・活用、地産地消の推進、販路拡大策などを積極的に展開し、農業の向上に努めている。

出頭

平成30年5月15日に開催された第2回鹿嶋市中心市街地活性化検討委員会において、配布された中心市街地活性化基本計画には歴史資料館再検討と明記してある。白紙の撤回とも思える基本計画により、これまでと、そしてこれからも、人・物・金を

動かそうとしているのかと思うと、事業の私物化であり、議会は何をしていたのだと市民から言われかねない。鹿嶋市の歴史に刻まれる重大な事業案件だからこそ、鹿嶋をわくわくさせる会としては、内閣府から指摘されているほど問題のある今の基本計画に対し、今後も反対だと主張する。



内閣府の指摘事項はこちらを参照

※質問時間終了のため、執行部の
答弁はありませんでした。



いけだ のりこ
池田 法子 議員
〔発言時間＝45分〕

Q 子育て世代包括支援センター開設の狙いとは

池田 本市において、本年度より子育て世代包括支援センターが開設されたが、初年度の具体的な取り組み内容とセンター開設の狙いを伺う。

A 保護者の育児不安やストレス等に対する手厚い支援

市長 近年のライフスタイルや経済社会の変化の中で、保護者の育児不安やストレス等に対し、行政による手厚い支援が大変重要となっている。こうした背景から、平成30年4月に保健センター内に子育て世代包括支援セン

ター「りぼん」を開設した。従来からの母子保健と子育ての両面からの支援に加え、専門職のコーディネーターによる妊娠期からのきめ細やかな相談・対応を入り口に、子育て期まで切れ目のない支援に努め、妊産婦や子育てをする方が気軽に立ち寄れるワンストップ拠点を目指している。

健康福祉 社部長 母子保健コーディネーター等を配置し、母子健康手帳交付時にすべての妊婦と面接し、体調や心配事などを伺いながら、一人ひとりの状況に合わせた子育てプランを作成し、今後の支援を説明している。

Q 病児保育の現状は

池田 病児、病後児を預かる事業がやっと1年たったが、その現状は。

A 延べ200人の乳幼児が利用

健康福祉 社部長 家庭で看護できない保護者にとって病児保育は重要な子育て支援策で、昨年4月から、病児保育施設「もみの木」に

業務委託した。29年度の利用状況では101人が事前登録し、延べ200人が利用。年齢別では1、2歳児が全利用者の65%を占めた。利用は、風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎などが流行する時期にあわせて多かった。

Q どのようにつづらぬか

池田 まだ認知度が低いのではないかと。どのように周知しているのか。

A 広報やポスター掲示で周知している

健康福祉 社部長 事業開始は、広報・ホームページなどでお知らせするとともに、保育園や児童クラブなどにポスターを掲示してき

ぶなどにお子さんと保護者が集まる場所など、普段から目にしやすい場所へポスター掲示をお願いするなどして認知度の向上を図り、スムーズに利用できるように、事前登録の推奨をしていく。

【こんな質問もありました】

⑨ 発達障がい児の家族支援事業について



ひぐち ふじお 議員
樋口 富士男
〔発言時間＝60分〕



Q 市政に若者を参画させる若者会議等の開催状況、審議会への登用状況を伺う

樋口 現在日本が抱える政治課題は、若者の未来と直結しており、若い世代の声に耳を傾けた政策が求められている。過去に同質問をした際、前向きな答弁をいただいたが、若者の審議会への登用は進んでいるのか、また、意見はどのくらい取り入れられているのか。

A 55ある審議会等のうち23審議会等で20・30代の若者に委員を委嘱

市民生活部長 若者会議としては開催していないが、昨年度から

新たな車座懇談会として、20・30代の子育て中の母親を中心としたサークルや市民活動団体等と意見交換を行い、市政運営の参考としている。また、55ある審議会等のうち23の審議会等に20・30代の委員を委嘱し、さまざまな分野で若者の意見を市政に反映している。

Q 投票率を上げる対策と啓発の考えは

樋口 先般行われた市長選挙投票率は46・21%で、50%を切った。近年の国政選挙や知事選でも投票率は減少傾向にあるのではないかと。市として投票率の低下をどのように考えるのか。また、投票率を上げる対策や啓発をどのように考えているのか。

A 低投票率の若い世代への啓発策として高校生に投票立会人依頼

選管書記長 これまで、商業施設での期日前投票所の開設や期日前投票の投票手続きの改善に取り組んでいるが、若い世代の投票率が低い状況に鑑み、新たに高校

生への投票立会人の依頼をはじめ、さまざまな啓発活動に積極的に取り組んでいきたい。



Q 在宅医療の具体的な施策はあるのか

樋口 第7期はつらつ長寿プラン21では在宅医療と介護連携の体制づくりを推進するところだが、在宅医療の具体的な施策はあるのか。

A 医療・介護のネットワーク化を進めている

健康福祉部長 切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築など国が示す8項目の事業の取り組みを継続的に推進していく。医療・介護のネットワーク化を図り、支援体制の構築につなげたい。

Q 雇用の安定と人事評価制度の見直しを

菅谷

臨時・非常勤職員の会計年度任用職員制度への移行に伴い、雇い止めや報酬のリセットなど現在働いている対象者に雇用不安や不利益のないようにすべき。また、人事評価制度を実施しているが、形骸化し、非効率であり見直すべきだと思いが、考えを伺う。

A 改正法の趣旨を基本に適切に判断、見直しを図りながら評価制度を運用

総務部長

均等な機会の付与の考え
方、また、臨時・非常勤



菅谷 つかし 議員

〔発言時間＝60分〕



職員の適正な任用、勤務条件を確保するという改正法の趣旨を基本に具体的な採用方法や処遇面について適切に判断していく。人事評価制度は、人材育成を目的に業務としての位置づけで行っており、その運用方法も含め、常に研究課題としてその改善に努めている。これまでにも評価に活用する様式や手法の見直しを行うなど、職員の負担軽減にも取り組んでいるところである。今後も必要に応じて見直しを図りながら、より効果的、効率的な評価制度として運用していく。また、職員研修を継続して実施し、個々の職員と組織全体のスキルアップに努め、行政サービスの充実につなげていきたい。

Q 障害者自立支援医療費支給制度の充実を

菅谷

精神疾患に関して通院医療費支給のみでなく、入院医療費についても支給できるような制度を充実すべきと考えるが。

A さまざまな視点から調査研究を行っていく

健康福祉部長

市としては、精神障がい者の方に対しては、相談支援を通して定期的な通院や日常的な薬の服用、長期的な入院の医療費など、経済的・身体的にも大変な負担であることは十分認識している。今後、精神障がい者の医療費助成については、県や他市町村との情報収集等を踏まえて、自立支援医療費・マル福制度等さまざまな視点から調査研究を行っていききたい。

【こんな質問もありました】

- ④ 鹿嶋市定員管理計画について
- ⑤ 種子法廃止の影響について



しづか しょうそう
篠塚 洋三 議員
〔発言時間＝30分〕



Q 高齢者の知恵と時間を生かしたまちづくりについて伺う

篠塚

市の65歳以上の高齢者の人口が2万人を超えた。高齢者は多くの体験、豊かな知識・知恵、時間を持っており、今後はこれらを生かしたお互い様の関係が超高齢社会のまちづくりであると考え。大切にされる高齢者から必要とされる高齢者への意識改革について市の考えを伺う。

A 高齢者自身が地域の担い手として活躍できるよう体制を整えたい

市長

高齢者の健康と生きがいづくり、社会参加の促進

を柱の1つとして、平成30年度から3年間を計画期間とする第7期はつらつ長寿プラン21を策定した。高齢者自身が地域支え合いの担い手として活躍することで、市の活性化につながるよう体制を整えていきたい。

健康福祉部長

平成27年度、地域の多様な主体により地域の支え合い体制の構築を目指す「生活支援体制整備事業」が新設された。高齢者も元気なうちから地域と関わり、多世代と交流しながら、自分らしく生活できる地域づくりを目指し、体制整備を進めていく。

Q 子どもの見守り活動と子どもの安全を踏まえた条例の制定について伺う

篠塚

つい最近、新潟県で小学生が下校時に大変な事件に巻き込まれた。また、昨年は千葉県で小学生が悲惨な事件に遭っている。市では児童の登下校時にどのような対策をとっているのか。また、子どもの安全を踏まえた条例の制定について伺う。

A 自警団や地区社会福祉協議会等と連携し見守り活動を行っている

教育長

教職員と保護者が協力し、登下校時の整理や要所での見守りを行い登下校時の体制を整えている。また、自警団や地区社会福祉協議会と連携し見守り活動に取り組んでいる。今後は、地域の大人が日常生活の中で何気なく子どもの安全について気にかけることができるような機運醸成を図っていきたい。

教育部長

自治体の見守りに関する条例の制定については、機運醸成のきっかけにする1つの方策だが、まずは現在行われている各団体の活動を広く周知及び支援し、市民に子どもを守る活動への関心を高めてもらうことが必要だと考えている。



Q 生産性向上特別措置法の効果と目的は

山口 生産性向上特別措置法は、中小企業・小規模事業者の積極的な設備投資を後押し、生産性の飛躍的な向上を目指しているが、本市が実施する目的と効果について伺う。

A 中小企業者・小規模事業者が円滑に国の補助金等を活用できるよう支援していく

市長 中小企業の労働性は伸び悩み、大企業との格差も拡大傾向となっている。また、中小企業が所有する設備は老朽化が進み、生産性向上に向けた足かせ

となっている。この状況を踏まえ、国では、今後少子高齢化や人手不足、働き方改革への対応等厳しい事業環境を乗り越えるため、老朽化が進む設備を生産性の高い設備へと一新させ、事業者自身の労働

生産性の飛躍的な向上を図る必要があるとして、税制改正や生産性向上、特別措置法を成立させ中小企業・小規模事業者への支援に取り組むことになった。市としても中小企業・小規模事業者は、市内事業者の大多数を占めており、地域経済の活性化や雇用創出等に重要な役割を果たしていると認識している。これまでの取り組みに加え固定資産税の特例措置や国の補助金制度を中小企業・小規模事業者が円滑に活用できるよう支援していく。

Q 市営住宅の整備・改修には迅速な対応を

山口 市営住宅の整備に「計画的な改修や機能向上を図る」とあるが、窓に網戸がなく環境が悪い。早急に改善をお願いしたい。

とあるが、窓に網戸がなく環境が悪い。早急に改善をお願いしたい。

A 要望のあった部屋に対して網戸を設置している

都市整備部長 網戸の改善については、市営住宅建設当初には雨

戸の枠が設置されていなかったため、網戸の設置が困難だったが、現在、市では要望のあった部屋に対し、後づけとなるが網戸・外枠の取り付けを行い、網戸が設置できるように改善を行っている。

Q 市営住宅入居時の保証人の免除について

山口 住宅困窮者が市営住宅への入居に支障が生じないよう、保証人の免除を提案する。

A 先進事例などを調査し、検討していく

都市整備部長 今回の民法改正による連帯保証人の取り扱いについては、大きな課題と捉えている。

いては、大きな課題と捉えている。県の取り組み状況については、全国における県営住宅の保証人制度についての方向性を確認している状況であり、本市も他の先進事例などを調査した上で検討していく。



やまぐち てつひで
山口 哲秀 議員
〔発言時間＝60分〕





たちほら ひろいち
立原 弘一 議員
〔発言時間＝90分〕



Q 県移管に伴う国民健康保険税の値上げに対する考え方は

立原 以前の説明では、保険税が値上げにならないような話だったが、急に値上げしなければならなくなった。県の試算を「妥当」と判断した根拠は何か。

A 今後確実に増える医療費を考えると断念した

副市長 県が示した国民健康保険事業納付金を加入者1人当たりの負担額にしてみると、本市は、県内でも低い額であること。また、医療給付費が県平均を超えているにもかかわらず低いこと。

今後、前期高齢者の加入が増え、確実に医療費の増が予測される中で長期的な視点で考えれば、国民健康保険の財政運営広域化のスタート時の納付金としては妥当性があると判断した。納付金は、毎年算定されることから、常に分析していく必要があると考える。

Q 小中一貫校の今後の方針は

立原 小中一貫校について、市の考えと今後の方針、メリット・デメリットをどのように認識しているのか。

A 高松小中一貫教育の状況を検証しながら検討を進めていく

教育長 市では、小学校と中学校の垣根を取り、9年間の連続した学びの中で、確かな学力と豊かな人間性の育みが期待できる小中一貫校教育は、とても有効な施策の1つと判断し、高松地区をパイロット地区として導入した。今後については、高松小中一貫教育の状況を検証しながら市内の他の学校への導入について検討

を進めていく。

教育部長 小中一貫教育のメリットについては、小学校から中学校へのスムーズな移行と知識の定着による学力の向上が挙げられる。市としては、これらのメリットなどにより、児童生徒が9年間の落ち着いた生活環境で学校生活を送ることができ、学力のみならず、体力、運動能力の向上や児童生徒の落ち着きが増すなど、期待を寄せている。一方、デメリットとしては、転入などを含む人間関係の固定化が挙げられ、何らかの理由で人間関係が壊れてうまくいかなかったり、転入時に溶け込みにくくなるなどの心配が考えられる。これらに対しては、小中学校の教職員間の情報共有によって共通理解を持ち、学校現場でのきめ細やかな対応はもちろんのこと、学校と教育委員会が共通認識を持って、児童生徒が孤立することがないよう注視していきたいと考えている。



みなさんの声をお聞かせください

議会報告会を開催します！

11月25日（日）

- 鹿島地区
時間：10:00～12:00
場所：鹿嶋市役所
- 大野地区
時間：14:00～16:00
場所：大野ふれあいセンター



スマホやタブレットで議会が見られます！



スマホ等でQRコード専用アプリを開き、QRコードを読み取ります。



※QRコードを読み取るには専用のアプリをダウンロードしておく必要があります。



YouTubeで鹿嶋市議会の一般質問のトップページまたは各議員の映像がご覧になれます。

人 事

平成30年5月10日、議会改革推進特別委員会の委員長が次のとおり選任されました。

委員長 飯塚 俊雄

平成30年5月10日、東京2020オリンピック推進調査特別委員会の副委員長と委員が次のとおり選任されました。

副委員長 樋口 富士男
委員 栗林 京子

平成30年5月10日、文教厚生委員会・予算決算常任委員会・議会改革推進特別委員会・広報広聴委員会・地方創生推進検討協議会の委員が次のとおり選任されました。

委員 笹沼 康弘

—鹿嶋っ子の夢、
応援しています—

きかせて！
あなたの夢



大同東小学校6年
馬場 優希乃さん

私の将来の夢は、検察官になることです。

ニュースを見ているときに、森友学園国有地売却問題を調べているのが検察官だと知って「検察官になりたい」と思いました。もし、検察官になれたら、冤罪が起きないようににきつちり真実に導いていきたいです。

そのために今は、司法試験に挑戦できるように勉強をがんばっています。

市議会については、どんなことをしているか詳しくはわかりません。け

れども、高齢化社会になつていくので、道路に横断歩道や信号機を、また見づらい所などを整備してほしいです。それから、大野地区には洋服をかうところがないので、洋服屋さんがあればいいなと思います。

ハキハキしていて自分の意見を自分の言葉で言うことのできる素敵な女の子でした。彼女なら将来の夢を実現できるという芯の強さを感じました。夢に向かってがんばれ！

(河津・樋口)

議 会 T O P I C S

全国市議会議長会及び茨城県市議会議長会 永年勤続議員表彰並びに感謝状贈呈

篠塚洋三議員（議員在職15年以上）が全国市議会議長及び茨城県市議会議長会から、また、小池みよ子議員（議員在職8年以上）が茨城県市議会議長会から、永年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献した功績により表彰を受けました。

また、池田芳範議長が全国市議会議長会から、建設運輸委員会委員として会務運営に尽力された功績により感謝状を贈呈されました。

写真は、6月定例会開会日の冒頭に、表彰状及び感謝状の伝達式が行われたものです。



写真左から
小池議員、池田議長、篠塚議員、西塚副議長

<広報広聴委員会>

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
笹沼康弘	小松崎敏紀	川井宏子	菅谷毅	栗林京子	河津亨	樋口富士男

今回は、スタッグスジュニアラグビースクールを訪問させていただきました。子どもたちが白い楕円形のボールを持ち、小さな体で、タックルバックに向かってタックルの練習をする姿は、大人顔負けの力強さでした。また、指導者の方たちも子どもたちの年齢別に練習方法を変えるなど工夫しながら、子どもたちにラグビーの楽しさを教える姿を見て、改めてスポーツの良さ、ラグビーの楽しさを感じることができました。

編集後記

小松崎 敏紀